

喜多方市立第一中学校

教科名等：学級活動

単元(題材)名：「女らしさ」「男らしさ」ってなんだろう

学年：第2学年

実施状況

男女共同参画教材（「次代の親づくり推進啓発プロジェクト『教師用指導ポイント集』」）を使用し、展開例に基づき、生徒の実態に応じて指導を展開した。授業のねらいは次のとおり。

- ① 日常生活や職業上での性差が絶対的でないことを理解する。
- ② 将来の生き方について社会的性別にとらわれない視点を持つ。
- ③ 性差を理解した学級づくりの視点を持つ。

前時に、ワークシートを利用し、「女らしさ」「男らしさ」についてのチェックシートや家事分担表を活用した授業を行ったところ、生徒は興味を持って取り組んでいた。本時においても、男女の分け隔てなく友人の意見も聞き入れながらそれぞれの設問に対して、意欲的に取り組むことができた。

児童・生徒の感想

- ・ 男女の偏りが少しはあると思った。やっぱり、男性がやるような仕事を女性が、女性がやるような仕事を男性がやると違和感があると思った。
- ・ 女性と男性では見た目やイメージが違うということがわかりました。
- ・ 考えてみると、女性と男性は結構区別されていると言うことに気づきました。CMを見てみると女性と男性がはっきりと分かれていることにびっくりしました。
- ・ 今日の授業で男女の偏りがたくさんあることがわかりました。性差が身についていることがわかりました。

参観者の感想

- ・ 授業を通して、生徒の性差意識の根強さを思いました。「教え」なくても自然にわかる、自覚できる進め方、大変勉強になりました。
- ・ 自分が思っている以上に生徒達が気にしていないのではないかと感じました。自分の感覚と生徒達の感覚が必ずしも同じではないということに気づかされました。
- ・ ジェンダー自体、曲解されることが多いテーマの中、今日の授業は違和感なく入っていくことに驚きました。
- ・ 生徒一人ひとりが学習内容に興味関心を示し、積極的に活動している姿が印象的でした。雰囲気作りの大切さを教えられました。自分が授業者だったらどう教えていくか、固定観念ができあがっていないかなどいろいろと考えさせられました。

指導者の感想

今回の2時間の授業実践を通して、生徒の発達段階に応じ、男女平等について真剣に考え、友人の考え方や意見に気づき、驚き、今後の生活の中で学んだことを生かそうとする態度が少しはあるが育成されたと考える。ここで学んだことが生かせる事後指導の充実を図りたい。